



平成27年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年5月14日

上場取引所 東

上場会社名 ルーデン・ホールディングス(株)

コード番号 1400 URL <http://www.ruden.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 西岡 孝

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 佐々木 悟

TEL 03-5332-5374

四半期報告書提出予定日 平成27年5月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第1四半期の連結業績(平成27年1月1日～平成27年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第1四半期	762	9.8	41	△54.2	40	△55.1	36	△58.2
26年12月期第1四半期	694	19.5	90	8.5	90	10.0	86	23.6

(注) 包括利益 27年12月期第1四半期 36百万円 (△57.8%) 26年12月期第1四半期 86百万円 (23.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第1四半期	3.61	3.48
26年12月期第1四半期	8.65	8.46

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第1四半期	2,031	1,733	82.3
26年12月期	2,148	1,684	76.1

(参考) 自己資本 27年12月期第1四半期 1,671百万円 26年12月期 1,635百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年12月期	—	—	—	—	—
27年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年12月期の連結業績予想(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,644	40.1	117	20.9	116	21.4	99	12.2	9.96
通期	2,850	14.5	191	1.1	190	0.9	152	△3.6	15.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年12月期1Q	10,011,300 株	26年12月期	10,011,300 株
-----------	--------------	---------	--------------

② 期末自己株式数

27年12月期1Q	200 株	26年12月期	200 株
-----------	-------	---------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年12月期1Q	10,011,100 株	26年12月期1Q	10,011,100 株
-----------	--------------	-----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しは、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に關しましては、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、政府経済対策の効果を背景に、企業収益の改善や雇用・所得環境の改善傾向がみられる等、緩やかな回復基調がみられたものの、消費者マインドの弱さや海外景気の下振れリスク等依然として先行き不透明な状況が続いております。

一方、当社グループの既存事業と密接に関連する新築マンション市場、特に首都圏マンション市場におきましては、平成27年の年間供給が4.5万戸（前年比微増）と予想（民間調査機関調べ）され、当第1四半期連結累計期間において順調に推移いたしました。

このような状況のなか、マンションディベロッパー及び管理会社との取引関係のさらなる強化及び新規法人開拓の強化に注力してまいりました。

この結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高762百万円（前年同期比9.8%増）、営業利益41百万円（同54.2%減）、経常利益40百万円（同55.1%減）、四半期純利益36百万円（同58.2%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①ハウスクエア事業

ハウスクエア事業に関しましては、密接に関連する新築マンション市場、特に首都圏マンション市場が比較的順調に推移し、マンションディベロッパー及び管理会社との取引関係のさらなる強化及び新規法人開拓の強化に注力いたしましたが、前年同期比において物件獲得戸数が減少したことなどにより、厳しい状況で推移いたしました。

以上により、当第1四半期連結累計期間におけるハウスクエア事業の業績は、売上高245百万円（前年同期比21.2%減）、営業利益39百万円（同56.4%減）となりました。

②ビル総合管理事業

ビル総合管理事業に関しましては、前連結会計年度に引き続き、営業体制の強化及び更なる顧客満足度の向上を図りましたが、既存物件の減額や現場人件費の高騰などにより、厳しい状況で推移いたしました。

以上により、当第1四半期連結累計期間におけるビル総合管理事業の業績は、売上高230百万円（同8.9%減）、営業利益12百万円（同44.5%減）となりました。

③総合不動産事業

総合不動産事業に関しましては、所有物件の売却がほぼ予定通りに進み、比較的順調に推移いたしました。

以上により、当第1四半期連結累計期間における総合不動産事業の業績は、売上高286百万円（同120.5%増）、営業利益37百万円（同96.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は1,821百万円となり、前連結会計年度末に比べ118百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が127百万円増加したことなどによる一方、販売用不動産が258百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、総資産は2,031百万円となり、前連結会計年度末に比べ116百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は267百万円となり、前連結会計年度末に比べ165百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が27百万円増加したことなどによる一方、未払金が114百万円、未払法人税等が35百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、総負債は298百万円となり、前連結会計年度末に比べ165百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,733百万円となり、前連結会計年度末に比べ49百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益36百万円及び新株予約権が12百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は82.3%（前連結会計年度末は76.1%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想について、売上高におきましては、総合不動産事業において、在庫の販売の目途が立ったことにより、第2四半期(累計)において、当初予想を上回る見込みですが、前倒しというかたちになりますので、通期においては変更ありません。

また、利益面におきましては、第2四半期(累計)において、上述のとおり、売上増に伴い利益の向上が見込まれます。通期においては、当初の予想より株価が高騰したため、ストックオプションの費用計上が増額いたしました。が、管理部門において、外注費等の見直しを継続して続ける事等により下記のように修正することといたしました。

平成27年12月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成27年1月1日～平成27年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株あたり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想(A)	1,524	114	114	92	9.26
今回修正(B)	1,644	117	116	99	9.96
増減額(B-A)	120	3	2	7	—
増減率(%)	7.9	2.6	1.8	7.6	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成26年12月期第2四半期)	1,173	96	96	88	8.88

平成27年12月期通期連結業績予想数値の修正(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株あたり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想(A)	2,850	199	201	156	15.64
今回修正(B)	2,850	191	190	152	15.27
増減額(B-A)	—	△8	△11	△4	—
増減率(%)	—	△4.0	△5.5	△2.6	—
(ご参考)前期実績 (平成26年12月期)	2,488	189	188	158	15.85

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	422,997	550,586
受取手形及び売掛金	260,735	236,729
商品及び製品	331	322
販売用不動産	540,391	281,683
仕掛販売用不動産	65,505	60,705
仕掛品	—	6,940
原材料及び貯蔵品	2,435	3,185
前渡金	64,045	87,777
短期貸付金	474,364	474,364
未収入金	173,072	184,101
その他	14,198	18,721
貸倒引当金	△78,231	△84,071
流動資産合計	1,939,845	1,821,045
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	88,866	88,866
減価償却累計額及び減損損失累計額	△76,053	△76,280
建物及び構築物(純額)	12,812	12,586
機械装置及び運搬具	899	899
減価償却累計額及び減損損失累計額	△524	△618
機械装置及び運搬具(純額)	374	281
工具、器具及び備品	9,099	9,099
減価償却累計額及び減損損失累計額	△7,810	△7,945
工具、器具及び備品(純額)	1,288	1,153
土地	3,248	3,248
リース資産	15,078	15,078
減価償却累計額及び減損損失累計額	△8,304	△9,058
リース資産(純額)	6,773	6,019
有形固定資産合計	24,497	23,288
無形固定資産		
のれん	12,552	9,862
その他	403	403
無形固定資産合計	12,955	10,266
投資その他の資産		
投資有価証券	30,489	30,909
出資金	82,181	82,181
破産更生債権等	620,326	621,051
その他	86,471	91,892
貸倒引当金	△620,404	△621,112
投資損失引当金	△27,713	△27,713
投資その他の資産合計	171,349	177,208
固定資産合計	208,803	210,763
資産合計	2,148,649	2,031,809

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,540	45,738
未払金	260,145	145,468
未払法人税等	40,470	5,454
預り金	9,912	4,066
賞与引当金	—	4,857
売上値引引当金	344	422
アフターコスト引当金	547	665
その他	102,454	60,472
流動負債合計	432,417	267,145
固定負債		
退職給付に係る負債	6,104	6,226
その他	26,076	25,362
固定負債合計	32,181	31,589
負債合計	464,598	298,735
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,782,061	1,782,061
資本剰余金	314,414	314,414
利益剰余金	△461,013	△424,851
自己株式	△290	△290
株主資本	1,635,172	1,671,334
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	174	547
その他の包括利益累計額合計	174	547
新株予約権	48,704	61,192
純資産合計	1,684,050	1,733,074
負債純資産合計	2,148,649	2,031,809

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)
売上高	694,346	762,052
売上原価	368,716	488,671
売上総利益	325,630	273,380
販売費及び一般管理費	234,937	231,861
営業利益	90,692	41,518
営業外収益		
受取利息	5,858	5,861
その他	1,322	554
営業外収益合計	7,180	6,415
営業外費用		
支払利息	86	57
貸倒引当金繰入額	5,848	5,848
消費税控除対象外	935	1,208
その他	180	—
営業外費用合計	7,050	7,114
経常利益	90,822	40,819
特別利益		
違約手数料戻入益	12,837	—
特別利益合計	12,837	—
税金等調整前四半期純利益	103,659	40,819
法人税、住民税及び事業税	16,942	4,153
法人税等調整額	115	504
法人税等合計	17,057	4,657
少数株主損益調整前四半期純利益	86,601	36,161
四半期純利益	86,601	36,161

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	86,601	36,161
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	54	372
その他の包括利益合計	54	372
四半期包括利益	86,656	36,534
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	86,656	36,534

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ハウスケア 事業	ビル総合管理 事業	総合不動産 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	312,045	252,500	129,800	694,346	—	694,346
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	312,045	252,500	129,800	694,346	—	694,346
セグメント利益	91,145	23,142	18,893	133,181	△42,489	90,692

(注) 1. セグメント利益の調整額△42,489千円には、のれん償却額△2,689千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△39,799千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ハウスケア 事業	ビル総合管理 事業	総合不動産 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	245,753	230,063	286,234	762,052	—	762,052
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	245,753	230,063	286,234	762,052	—	762,052
セグメント利益	39,775	12,849	37,023	89,647	△48,129	41,518

(注) 1. セグメント利益の調整額△48,129千円には、のれん償却額△2,689千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△45,439千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。